資料5

作業(設備)リスク評価表 記入要領

- 1. 管理 リスクを評価後、対応一覧表にした時に管理 として使用。例:(97-001)
- 2. 課名 職場を記入
- 3. ライン名(工程名) ライン名または工程名を記入
- 4. リスク評価対象作業 作業名を で囲む
- 5. 作業年月日 作業分析を行った日付を記入
- 6. 作業分析記入者 作業分析を行ったメンバーを記入
- 7. 評価年月日 評価を行った日付を記入
- 8. 評価者 評価を行ったメンバーを記入
- 9. 設備名称(工程名) 職場の設備名または工程名を記入
- 10. 作業の種類 リスク評価表参照
- 11. 作業内容 リスク評価表参照
- 12. 頻度 作業する頻度が、直(日)、週、月、年当たり何回あるか記入
- 13. 作業条件 リスク評価表参照

- 14. リスク内容 どのような危険要因(不安全な状態・不安全な行動)があり、どのような現象(災害の形)で災害が発生するかを予知予測して記入
- 15. ケガの大きさ リスク度評価基準参照 重大災害等を記入
- 16. 度合 リスク度評価基準参照 、 、 、 、 を記入
- 17. 危険の可能性 リスク度評価基準参照 ケガの可能性を記入
- 18. 度合 リスク度評価基準参照 a、b、c、d、eを記入
- 19. 対策前レベル リスク度評価基準参照 1~16の数値を記入
- 20. 対策内容 リスク内容に基づき対策内容を記入
- 21. ケガの度合 リスク度評価基準参照 対策実施後 、 、 、 、 を記入
- 22. 危険の度合 リスク度評価基準参照 対策実施後a、b、c、d、eを記入
- 23. 対策後レベル リスク度評価基準参照 対策実施後の数値を記入
- 24. 実現性 リスク評価の結果実現性を判断して、5段階評価を行う。
5:実現できる 4:努力すれば実現できる 3:やや困難であるが実現可能である
2:かなり困難である 1:実現は無理である

作業(設備)リスク評価表

リスク評価対象作業

- ・定常作業
- ・非常作業
- ・暫定的作業
- ・チョコ停作業

管理	課名	ライン名(工程名)

作成年月日	年 月 日	評価年月日	年 月 日
作業分析 記入者		評価者	

	設備名称 (工程名)	作業分析			リスク評価					対策前 レベル	対策内容	ケガ 度合	危険 度合	対策後 レベル	実現性	
		作業の種類	作業内容	頻度	作業条件	リスク内容	ケガの大きさ	度合	危険の可能性							度合
例	切出しリフター	・日常点検	リフター作動状態 及び油圧系油漏れの 確認	1/週	自動運転中に 目視確認	点検中に危険エリアに入れる (身体全体が挟まれる)	重大災害 (死亡・後遺 症7級以上)		ほとんどない	d	8	・外周にインターロック付安全柵を設置 ・チェーンで囲い、表示を吊す (の対策を施したときのリスクレベルが 8 1になる)		d	1	

各作業のリスク評価を行う際の前提条件
 ・標準的な(常識的な)作業手順に沿って作業が行われる。
 ・工程や安全に関する基本的な教育・訓練は行われている。
 ・定められた道具を使用し、保護具を着用している。
 ・外部の人や部外者が無断で立ち入ることはない。
 以上の4項目が基本ですが、次の項目も十分加味する必要があります。

・咄嗟や無意識の行動は、時々する。
 ・悪意や意図的なルール無視はないが、うっかりミスは時々ある。
 ・やり易い動作や方法を選んでしまうことはある。
 ・安全装置・回路が一部故障することがある。(安全装置は多重化が必要)
 但し、安全装置の故障や作業のミスが二重に重なる可能性は低い。
 三重に重なる事はほとんどない。